

令和元年度
第6次日高市総合計画策定市民会議
市民ワークショップ 提言書

令和元年9月

「将来都市像」提案シート

「第6次日高市総合計画」の作成を市が進めるにあたり、テーマごとの目指すべき姿と、総まとめとしての目指すべき将来像を提言します。

【グループ No. 及びグループネーミング】

グループ No.	グループネーミング
A	朋友 (For you)

グループA

グループB

グループC

グループD

グループE

提案項目を踏まえて
テーマごとの目指すべき姿（キャッチフレーズ）

① 農家の知恵を活用し、農地を有効活用する

補足コメント：

② ワンストップで全てが済むショッピングモールを構築する

補足コメント：

③ 情報化社会の多様化を推進する

補足コメント：

④ 生涯学習プログラムの充実を図る

補足コメント：

総まとめとして
日高市が目指すべき将来像

未来を見つめ安心して豊かに暮らせるまち “日高”

補足コメント：

提言 1

未来を見つめ安心して豊かに暮らせるまちづくり

提案（提言）の具体的な内容

①

農家の知恵を活用し、農地を有効活用する

- ・ 市民参加の朝市
- ・ 市民マイスター制度
- ・ 市民農園の活用

②

ワンストップで全てが済むショッピングモールの構築

- ・ 医療・教育・行政が1か所に集合している場所作り
- ・ アクセスする交通網の整備（自動運転車の導入）

③

コミュニケーションの多様化

- ・ AI、IoT、ICTの活用
- ・ ユビキタス社会を実現する
- ・ いつでも、だれでも、どこでも、なんでも（サテライトオフィス等）

④

生涯学習プログラムの充実

- ・ 日高市の自然を生かした教育（教育と保育）
- ・ リタイヤした人たちの知恵を活用
- ・ 全ての市民が生涯に渡って学ぶ意欲が満たされる仕組み

「将来都市像」提案シート

「第6次日高市総合計画」の作成を市が進めるにあたり、テーマごとの目指すべき姿と、総まとめとしての目指すべき将来像を提言します。

【グループ No. 及びグループネーミング】

グループ No.	グループネーミング
B	アクティブ B

提案項目を踏まえて
テーマごとの目指すべき姿（キャッチフレーズ）

① 活気のある町のために

補足コメント：行動範囲を広げるための巡回バスを走らせよう
交流の場の設置・開放

② やさしい自然を育む街（町）

補足コメント：巾着田に物産展・乗馬クラブ等を作ろう
間伐材の利用

③ チームワークで子育てしよう!!

補足コメント：みんな（ママ）の声を聞こう＝意見箱の設置
空き教室の利用 見守り隊と子供

総まとめとして
日高市が目指すべき将来像

豊かな自然を活用し、活気のある地域と人を育む町づくり

補足コメント：住民の参加
巾着田プロジェクトチームの立ち上げ（有識者の活用）

グループA

グループB

グループC

グループD

グループE

提言 1

活気のある町のために

提案（提言）の具体的な内容

①

市民の行動範囲を広げるために、市内巡回バスを走らせる。
（住民のための対策）

②

駅前の休憩場所（自由スペース）の設立
現在使われていないスペースを開放し有効活用する

③

食を通じて交流を深めるために
マルシェ・加工食品・漬け物作り等のワークショップを開催する。

④

歴史ある町の宣伝を、市内外に広める
高麗の歴史
その体験を基本に遊べる場所（施設）を増やす
乗馬クラブなど 官民一体で行動する

提言 2

やさしい自然を育む街（町）

グループA

提案（提言）の具体的な内容

グループB

- ① 巾着田の整備（プロジェクト化する）
- 手つかずの自然⇔集客のための整備（物産店）
 - 観光⇔憩いの場 ・ 牧場の活用 ・ 増水時の危険（情報提供）
 - 駐車場の利用（市民・市外の差別化 日をまたぐ長時間利用の金額増）
 - 市内循環バス

グループC

- ② 農業、林業の整備、利用
- 休耕地の利用（利用に対する柔軟性）
 - 間伐材の利用⇒高麗の郷等 ボランティアを利用
 - 除草剤の自粛

グループD

- ③ 地域の整備（安全と安心）
- 街灯の設置
 - 街路樹の植栽の手入れ⇒ボランティア、シルバー人材の協力
 - 市内循環バス（①、②、③共通）

グループE

④

提言 3

子育て

提案（提言）の具体的な内容

①

ママの声

- ・意見箱の設置
- ・幅広い年齢層での交流

②

学校・保育所の利用

- ・空き教室、園庭開放
- ・企業への貸出
- ・見守り隊（PTAの協力）
- ・スポーツ少年団
- ・日高市産の食材利用

③

公園

- ・時計、ベンチ、テーブル、水飲み場の設置
- ・巾着田の中心に施設

④

「将来都市像」提案シート

「第6次日高市総合計画」の作成を市が進めるにあたり、テーマごとの目指すべき姿と、総まとめとしての目指すべき将来像を提言します。

【グループ No. 及びグループネーミング】

グループ No.	グループネーミング
C	I ♡ (らぶ) HIDAKA

グループA

グループB

提案項目を踏まえて

テーマごとの目指すべき姿（キャッチフレーズ）

① 「自然・歴史・文化」の魅力発信力強化

補足コメント：高麗郡の歴史はもちろん、更に日高には縄文文化のみなおすべき歴史があります。
これについては埼玉県の資料館に集まっている。施設の利用法などスクラップ&ビルドをする

グループC

② 安全あつての安心できるまち日高へ

補足コメント：

グループD

③ 助け合い日高、みんな家族

補足コメント：

グループE

総まとめとして

日高市が目指すべき将来像

多くの人が集まるコミュニティのある「まち」

補足コメント：関心→愛→安心→維持する為に共助 1つの灯り

提言 1

『日高の文化』発信力の強化

提案（提言）の具体的な内容

☆新しい高麗郷の創造☆

- ① 森・畑・林業・農業の体験からグランピングの体験まで。日帰り、宿泊、長期滞在などを体験できる環境、仕組みを作る。教育から観光まで日高の良さを伝える。

☆日高の里構想☆

- ② 地元の歴史・文化は地元に残し、日高博物館、縄文公園の設置を通じて、日高の歴史・文化を日高でPRする。

☆日高市MAPプロジェクト☆ ①、②を受けてそれらを体系化し、分かりやすくマップ化する。

- ③ 手書きの味ある紙のMAPに加え、インターネットで活用し、分かりやすい発信をする。バーチャルリアリティ体験まで創り上げる。

①②③をSDGsにならって持続可能な開発目標を立てる。

- ④ 人材を生かしつつSNS・口コミ・マスコミあらゆる手段で発信していく。
市民全員で日高市をPR！！

提言 2

安全 ⇔ 安心の日高

グループA

提案（提言）の具体的な内容

グループB

- ① 日高の安全は「道路整備（緑道、歩道）」から!!
- ・安全の確保のため、最優先で道路を整備。
→バス交通の環境が整い、安心して誰もが歩いたり、自転車に乗ることが出来る。

グループC

- ② 公共交通機関を使うための工夫!!
- ・電動レンタサイクル、地域循環バスの設置
 - ・①の整備で歩行者、自転車利用者が増える
→結果、公共交通機関のニーズが高まる→行政が動く

グループD

- ③ 公園を整備することで安心できる日高になる!!
- ・子どもも大人も安心して住める環境が整う
 - ・公園には水飲み場、トイレ、休憩ベンチを必ず設置
 - ・公園設備は常にキレイにしておく

グループE

- ④ 地域活性化まで視野に入れた空家の有効利用
- ・既存の仕組みを活用（空家見守り隊）
 - ・危険→安全→安心→活性（発展）

提言 3

助け合い日高、みんな家族

提案（提言）の具体的な内容

①

☆助け合う環境を作ろう!!

- ・各駅前にコミュニティスペース設置
- ・日高寺小屋（大学生が小中学生に勉強を教える場）
- ・公民館のフリースペース化（コミュニティの場）
- ・映画館・ゲームセンター等の既存施設利用

②

☆地元を知ろう!!

- ・森の育成、炭焼、畑、稲作の体験学習
- ・歴史的古道を知る（鎌倉街道、飯能道）→復元も!!
- ・消滅した伝統の再現活動（双盤念仏、古道、まんじゅう作り）

③

☆お互いを知ろう!!

- ・空家をサークル会場にして犬猫の遊び場に!!
- ・自宅で仲間同士のミニカフェ（グループ交流）
- ・空き教室で社会学習（竹馬、パッチ、オハジキ、雑巾ぬい）
- ・マイカーシェアでお互い様の助け合い

④

市のことも知ろう!!

- ・市役所のホームページを見よう!!使おう!!
- ・市の取組み、施策も見れるよ!!
（その代わりに）市も全戸訪問の実施（共感目線で）

「将来都市像」提案シート

「第6次日高市総合計画」の作成を市が進めるにあたり、テーマごとの目指すべき姿と、総まとめとしての目指すべき将来像を提言します。

【グループ No. 及びグループネーミング】

グループ No.	グループネーミング
D	熱血のD

グループA

グループB

グループC

グループD

グループE

提案項目を踏まえて
テーマごとの目指すべき姿（キャッチフレーズ）

① 垣根の無い社会の創造

補足コメント：どんな人も安心してくらせる街（※「どんな人」：外国人、要特別支援者）

② 環境保全の基準見直しとインフラの整備

補足コメント：本来の自然環境を守り、活かせる街

③ 市民のニーズに応える新交通システム

補足コメント：誰でも、いつでも、自由に行動（移動）できる街

④ 誰もが健康で楽しく過ごせるまちへ

補足コメント：医療体制や健康相談の充実した街

総まとめとして
日高市が目指すべき将来像

人と自然が共生し、安心して住める街・日高

補足コメント：

提言 1

環境保全の基準見直しとインフラの整備

提案（提言）の具体的な内容

① 環境保全の為に市独自の基準づくり

・遠足の子供達の安全基準の見直し（大雨、台風、雷、地震）・守っていく場所を明確に決めていく・川の回りの美化・高麗川に流れ込む汚水の絶滅・市独自の基準（環境保全→県より厳しく）・開発業者は必ず地元純民に説明会の実施（市条例）、メガソーラーの不許可・メガソーラー設置による自然破壊

② 巾着田の活用と保全の基準の見直し

テントの設置の基準の見直し・巾着田の河川敷の利用制限・環境保全と巾着田全体の利用計画の見直し・巾着田の植生の見直し（彼岸花だけでなく四季折々の植生）・巾着田の利用構造物の制限と整備

③ 観光資源の開発とインフラの整備

来た人がお金を払ってでも、使いたい観たいコンテンツの開発・高麗駅から巾着田コースの道路（安全）・各コースから巡回コースの見直し・国道299号線の渋滞緩和・ハイキングコースの整備・交通網の再編成・市ウォーキングコースの安全トイレ設置

④ 自然環境保全の教育の充実

・自然豊かな環境を守るためにポスターを作って呼びかける
 ・自然保護チームがあるといい
 ・自然環境の保全を学べるツアーの開催

提言 2

市民のニーズに応える新交通システム

グループA

提案（提言）の具体的な内容

① **多様な交通機関と連携した巡回バスの復活と利便性の向上**
市内を巡るバスがあるといい・バス会社と市営バスの打合せ・大学・高校のバスに乗れる連携による（合間）利便性の向上・市内バス（ミニ・手を挙げて停まる）・タクシー補助上限のUP・免許返上後の交通手段・バスターミナル（コンビニも停車できる）各丁目を回る交通システム・巡回バス（日高市内だけでなく主要駅まで）

グループB

② **新交通システムの構築**
自宅から行きたい時間に行きたい場所に行くシステム・専用自動車の設置（特にお年寄り・赤ちゃん）・個人のニーズに合ったシステムの構築・病院廻り車の設置・AIを利用した新交通システム・安全な乗り物を導入していく

グループC

③ **各公共交通網の連携**

- ・飯能直行使
- ・バスと電車の繋がり改善
- ・電車の本数（複線に）

グループD

④ **道路（ハード面）の充実**

- ・自動車等が安全に通れるように道路の幅を広げる

グループE

提案 3

誰もが健康で楽しく過ごせるまちへ

提案（提言）の具体的な内容

- ① **高齢者世帯の見守り支援の充実**
- ・ 独居老人の把握と見守りの充実
 - ・ 一人暮らしの方の健康を守るシステムの確立

- ② **医療の公的補助の充実**
- ・ 健診の充実
 - ・ 公的医療費の補助
 - ・ 介護タクシーの充実
 - ・ 市独自の制度の充実

- ③ **病院の受入体制の充実**
- ・ 救急搬送の短縮
 - ・ 優先的に、病院に入れるような連携

- ④ **未病対策の確立と充実**
- ・ ラジオ体操で、認知症と体力低下予防
 - ・ 健康増進教室の充実
 - ・ 体を動かせる公園などの充実

- ⑤ **相談所の充実**
- ・ 健康について無料で相談できる場所が必要

提案 4

垣根の無い社会の創造

グループA

グループB

グループC

グループD

グループE

提案（提言）の具体的な内容

支援制度の確立

- ①
- ・ 特別支援学校を卒業した人の受入先の充実
 - ・ 実はすごい才能を持っている
 - ・ 障がいを抱えた家族に対して適切にアドバイスができる
人材育成

バリアフリーに向けた環境整備

- ②
- ・ 障がい者（車イス）の道路（バリアフリー）
 - ・ 学校のバリアフリー（公・教育）
 - ・ 障がい子どもたちを受け入れてくれる幼稚園や保育園があるといい 公立の幼稚園を希望

地域の特別支援者への理解

- ③
- ・ コミュニケーションツールの確立と教育の充実
 - ・ 近隣への周知
 - ・ 地域ボランティアの確立と連動
 - ・ 一声の努力の場を作る
 - ・ 相互理解の構築
 - ・ 親の会の充実

いじめ対策

- ④
- ・ いじめの実態把握
 - ・ 学校でのいじめの現実、学校の対策

行政（公）主導の連携システムの構築

- ⑤
- ・ 情報開示（プライバシーを含む）の必要性
 - ・ 情報システムの確立（プライバシーを含む）
 - ・ 精神的物理的助け合い
 - ・ 支援学校と連動
 - ・ 市民、市役所、病院、警察との連絡網
 - ・ 病院との連動
 - ・ 自治会の理解と支援の確立

グループA

「将来都市像」提案シート

「第6次日高市総合計画」の作成を市が進めるにあたり、テーマごとの目指すべき姿と、総まとめとしての目指すべき将来像を提言します。

【グループNo. 及びグループネーミング】

グループNo.	グループネーミング
E	パッションe

グループB

提案項目を踏まえて
テーマごとの目指すべき姿（キャッチフレーズ）

グループC

① 6つのコミュニティ・タウンの拠点づくり

補足コメント：学校・公共施設・医療・買物・歩いて行けるにぎわいの場

グループD

② 学び：将来を担う人づくり

補足コメント：地域を活かしたユニークな小中学校・大人の学びの場、市民の手で大学

グループE

③ 自然：自然とともに暮らせるまち

補足コメント：市外の人を集め、ひとりひとりが遊ぶ、学ぶ、稼ぐに積極活用できる

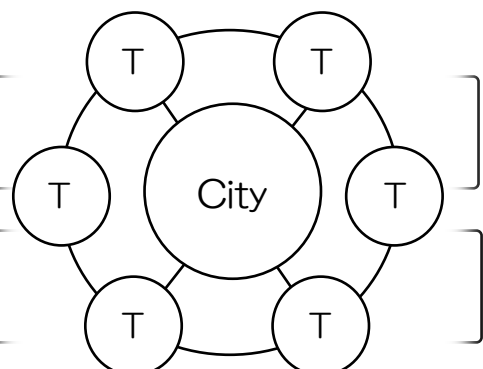
④ 交通：誰もが楽に動ける交通システム

補足コメント：デマンドバス等の新システム、自転車、歩きで楽しく動ける道

総まとめとして
日高市が目指すべき将来像

ユニークな6つの万華鏡

補足コメント：地域の特徴を活かしたまちづくり



提言 1

巡回バス等、（行政と関係業界）新システムを導入する

グループA

提案（提言）の具体的な内容

- ①
- ・フレキシブルなルート、ダイヤグラム（オンデマンド）
 - ・ミニバスで、低床（乗り降りしやすい）

グループB

- ②
- ・有料だが、大人 150 円、子供 80 円
 - ・地域内循環と市役所等公共施設の全市組み合わせ

グループC

- ③
- ・マーケットや公共機関の送迎バスと相乗り
 - ・小中学生、学校間移動

グループD

- ④
- 補助で
- ・カーシェアリング等の新システム実施特区に手をあげる
 - ・自転車が使いやすい道路等の環境をつくる

グループE

提言 2

自然を活かして人を呼ぶ

提案（提言）の具体的な内容

- ①
- ・ 巾着田マネージャー
 - ・ 一年を通してにぎわう巾着田

- ②
- ・ 活用できる人が、遊休農地、林地を活用できるようにする

- ③
- ・ 多世代にわたる自然の中での教育

- ④
- ・ ボランティア同志の連携を活性化する

- ⑤
- ・ 地元の人により移住者や関係人口を増やす（増そう）

提言 3

将来を担う人づくり

提案（提言）の具体的な内容

- ① 小中一貫で、日高に6つめの万華鏡のような個性
 - ・ 地域の人材を原動力に
 - ・ 校区や授業や部活を選べるオープン化
 - ・ プールと図書館は共有
 - ・ 通学、移動はコミュニティバス
- ② 地域の人々（大人も子どもも）集まって学べる場づくり
- ③ 市民の手で大学をつくろう
 - ・ ライブリーカレッジを市民教授の大学へ
 - ・ 眠っている図書の本集
- ④ 命に関わる緊々の課題解決に重点的に取り組む
 - ・ 児童虐待、いじめ、不登校、食の貧困

グループA

グループB

グループC

グループD

グループE

提言 4

センター + 6サブタウンのまちづくりの骨格

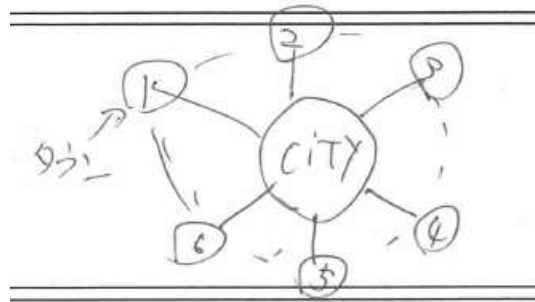
提案（提言）の具体的な内容

6サブタウン 歩ける範囲に、人が自然と集まる場

- 日常の買い物、医療、金融サービス、学校、集まる場（ひろば コミュニティタウン）
- 協議会

①

※それらを相互に結ぶ公共交通機関



【資料】

1 市民ワークショップ 参加者

敬称略

グループA

荻野 朱美
川島 弘之
田中 諭
船戸 真理子
増田 宏
村上 彰

グループB

東 美代子
大泉 征喬
熊田 栄一
佐成 千佳
難波 陽子
松下 倫之
宮越 正夫

グループC

加藤 聡
金康 輝彦
後藤 康之
小林 信行
白石 仁美
辻 正重
戸田 美雅

グループD

浅原 勝
潮田 真也
乙部 由季子
菊間 公威
日野 恭子
山口 伸

グループE

岩木 隆夫
沓澤 卓
陳 富子
藤原 めぐみ
横山 完爾



第4回市民ワークショップ終了後の参加者合同撮影

2 市民ワークショップ 日程表

【日程と実施プログラム】

回	日時・会場	プログラム
1	令和元年7月17日(水) 18:30~20:30 日高市生涯学習センター	1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 オリエンテーション及びWSの実施 (1) WS主旨説明 (2) 日程説明 (3) 総合計画について (4) 市民意識調査説明 (5) 支援業者紹介 (6) WS実施方法説明 (7) WSの実施 ①メンバー自己紹介 ②正副リーダーの選出 ③テーマ案の検討 ④テーマ案の決定 5 閉会
2	令和元年7月31日(水) 18:30~20:30 日高市生涯学習センター	1 開会 2 WSの実施 (1) WS第1回で設定したテーマにもとづく協議 ※協議結果は事務局がまとめ、次回WS時に提示 3 閉会
3	令和元年8月22日(木) 18:30~20:30 日高市生涯学習センター	1 開会 2 WSの実施 (1) 第2回WSの確認 (2) WS第1回で設定したテーマにもとづく協議 ※協議結果は事務局がまとめ、次回WS時に提示 3 閉会
4	令和元年9月4日(水) 18:30~20:30 日高市生涯学習センター	1 開会 2 WSの実施 (1) 第3回WSの確認 (2) 提言書のまとめとグループ別発表 3 閉会

3 日高市総合計画について

(1) 総合計画とは

「総合計画」は、全ての分野における行財政運営の基本となる本市の「最上位計画」であり「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層で構成されています。

基本構想

基本構想は、まちの特性や市民の意識と期待、時代変化の方向などを総合的に勘案し、本市が目指す将来都市像と、それを実現するための基本目標及び基本施策の方針などを示したものです。

計画期間は、10年間です。

基本計画

基本計画は、基本構想に基づき、今後推進すべき主要施策を行政の各分野にわたって体系的に示したものです。

計画期間は、5年間です。

実施計画

実施計画は、基本計画に示した主要施策に基づき具体的に実施する事業を定めたものであり、事業の優先順位や具体的な事業内容などを示したものです。

計画期間は、3年間とし、ローリング方式（毎年度見直す方式）で策定します。

(2) 第5次日高市総合計画（基本構想・基本計画）について

①基本構想

- 第5次日高市総合計画基本構想の計画期間は、平成23年度から令和2年度までの10年間としています。
- 3つの基本理念に基づき、市の将来都市像を定めています。
- 将来都市像を実現するために、5つのまちづくりの基本目標を定めています。

②基本計画

- 5つのまちづくりの基本目標は、行政運営の分野別目標であり、その目標を実現するために、取組内容を細分化し（施策といいます。）、それぞれの取組内容を設定しています。

(3) 第5次日高市総合計画基本構想における、基本理念・将来都市像・基本目標

①3つの基本理念

- 基本理念1 「緑いっぱい ここにしかない ふるさと自慢のまちづくり」
- 基本理念2 「笑顔いっぱい みんな生き生き 思いやりのまちづくり」
- 基本理念3 「元気いっぱい 人と企業の集う 活力のあるまちづくり」

②市の将来都市像

「笑顔と元気を未来（あした）へつなぐ
緑きらめくまち 日高」

③将来都市像を実現するための5つの基本目標

- 基本目標1 「自然を守り歴史を伝える憩いのまち」
- 基本目標2 「健やかでやさしさあふれるふれあいのまち」
- 基本目標3 「心豊かな人を育む学びのまち」
- 基本目標4 「快適に暮らせる安心・安全のまち」
- 基本目標5 「地の利を生かすにぎわいのまち」

(4) 今回市民ワークショップで協議・検討いただきたいこと

- 日高市総合計画は、多様な市民意見の反映に努め、職員による検討と審議会での協議等によって策定されます。
- 今回、市民ワークショップに参加された皆さんに協議・検討していただきたいことは、基本理念・将来都市像・基本目標等を策定するにあたって参考とする、皆さんの意見を取りまとめていただくことです。
- 基本理念・将来都市像・基本目標等そのものを作成していただくのではありませんが、上記内容を検討するにあたり大きく影響しますので、宜しくお願いします。

令和元年度 第6次日高市総合計画策定に向けた
市民ワークショップ 提言書

令和元年9月

発行：日高市

〒350-1292 埼玉県日高市大字南平沢 1020 番地

TEL：042-989-2111（代表）

FAX：042-985-4492

URL <https://www.city.hidaka.lg.jp/>

企画・編集：総合政策部 政策秘書課